

平成30年度 海洋科学高等学校 不祥事ゼロプログラム

海洋科学高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

海洋科学高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画

(1) 公務員としての基本に立ち返った行動の再徹底

ア 目標

教育公務員であるとの自覚を深め、生徒、保護者及び社会から信頼される行動をとる。

イ 行動計画

- i 職員行動指針の内容を周知徹底するとともに、適切な県民対応などの具体について啓発資料等を活用して、継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 自己点検シート等を利用した自己チェックを実施するとともに、具体的な事例を用いた校内研修会を設定し意識の向上を図る。
- iii あいさつ運動の意義を再確認し、円滑なコミュニケーションの基盤となるものとして励行を図る。
- iv 携帯電話、電子メール、SNS等のコミュニケーションツールの利用は、教育指導上、必要かつ緊急性を要する連絡に限定すべきであることを再確認し、適正な利用を徹底する。

(2) セクハラ・わいせつ行為の防止

ア 目標

教育公務員としての自覚を深め、人権感覚の醸成に努め、セクハラ・わいせつ行為の根絶を図る。

イ 行動計画

- i セクシュアルハラスメント等の啓発資料をもとに職員研修を実施し、日ごろの行動を再確認する。

(3) 体罰、不適切な指導の防止

ア 目標

生徒の人権を尊重し、信頼感が育まれる適切な生徒対応に努め、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 具体的な事例を踏まえた校内研修会を設定し、体罰、不適切指導の防止に向けた意識を深める。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

ア 目標

調査書や通知表の作成及び取り扱い、成績処理に関するミスを防止する。

イ 行動計画

- i 起こしやすいミスを想定し、それを未然に防ぐ留意点を考える職員研修を実施し、職員の意識の向上を図る。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

ア 目標

個人情報等の不適切な取り扱い及び流失を未然に防止し、情報セキュリティ対策の徹底を図る。

イ 行動計画

- i 情報取扱いに関する諸規程を再確認するとともに、必要な手続き等（教務手帳の一元管理、メールアドレス等の取得・管理、廃棄起案、パスワード設定等）が適切に行われているか定期的に確認する。
- ii 書類の保存期間や管理場所について適正に行われているか確認をする。
- iii 書類作成、出願等に係るスケジュールを、年次・グループで確認する体制を整備する。

(6) 会計事務等の適正執行

ア 目標

会計事務処理（公費・私費・現金管理）に関する事故の発生を未然に防止する。備品の適切な管理を行う。

イ 行動計画

- i 公金等に関する支出等の適正な取り扱い方法について、再点検・処理フローの整備を行い、職員研修を通じて徹底する。
- ii 備品物品の確認と管理を定期的に行い、状況の確認をする。

(7) 入学者選抜業務に係る事故防止

ア 目標

- i 入学者選抜業務における事故を未然に防止する。

イ 行動計画

- i マニュアルの徹底を図る。
- ii 職員啓発資料等をもとに、職員全員を対象にした職場研修を実施する。

3 検証

(1) 中間検証

行動計画について、平成30年10月に実施状況を確認し、評価を行う。未実施があった場合は12月末までに補完措置を講ずるとともに、各目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合はこれを行う。

(2) 最終検証

行動計画について、平成31年3月に実施状況を確認し、各目標達成について評価を行う。その結果、新たな目標設定あるいは目標修正が必要な場合はこれを行い、平成31年度の不祥事プログラムを策定する。